

令和元年度病害虫発生予察情報 特殊報 第2号

令和元年9月11日
広島県西部農業技術指導所

1 病害虫名 ツマジロクサヨトウ
Spodoptera frugiperda

2 発生作物名 スイートコーン

3 特殊報の内容
広島県における初発生

4 発生経過

(1) 発生確認年月日 令和元年9月9日

(2) 発生地域 広島市

(3) 確認の経緯

令和元年9月9日に広島市のスイートコーン栽培圃場において、ツマジロクサヨトウの疑似幼虫による葉の食害が確認された。9月10日被害株から疑似虫を採取し神戸植物防疫所に同定依頼をしたところ、本県未発生のツマジロクサヨトウ（図1, 2）と判明した。

(4) 他県での発生状況等

国内では、令和元年7月3日に鹿児島県の飼料用トウモロコシで初めて確認され、その後熊本県、宮崎県、長崎県、大分県、沖縄県、佐賀県、高知県、茨城県、福岡県、岡山県、千葉県、山口県、愛媛県、福島県、神奈川県、三重県の17県で発生が確認されている。これまでのところ、飼料用トウモロコシが主であるが、スイートコーンやソルガムでも発生が認められている。

(5) 平成31年1月に、中国で発生が確認された後、中国国内で急速に分布拡大している。

5 本虫の特徴

(1) 被害の特徴

幼虫が植物の茎、葉、花並びに果実を食害する。若齢幼虫は葉を裏側から集団で加害し、成長すると加害しながら分散する。摂食量が多く、食害部には、多量の糞が散在する。

(2) 形態

成虫は、開張約37mm、雌雄で外観が大きく異なり、雄のみ前翅中央部に白斑を持つ（図4, 5）。終齢幼虫は、体長約40mmで頭部の逆Y字及び尾部の斑点が特徴である（図1, 3）。卵は、奇主植物に塊状に産み付けられ、雌の体毛で覆われる。

(3) 生態

本種は、暖地に適応した種（南北アメリカ大陸の熱帯～亜熱帯原産）であり、熱帯では年4～6世代発生する。南北アメリカでは、毎年夏季に成虫が移動・分散するが、暖地を除く地域では越冬することができない。

6 防除対策

(1) 多発すると被害が拡大する恐れがあるので、圃場をよく見回り幼虫の早期発見に努める。

- (2) 県は、発生圃場においては、植物防疫法第29条第1項に基づく措置を行うこととし、国との協議により選定した別表に示す薬剤の散布を行う。
- (3) 残株や土壌中に幼虫及び蛹が残存している可能性があるため、収穫後は速やかに複数回の耕うんを行う。
- (4) 薬剤散布が困難な場合は、速やかにすき込みを行い、被害の拡大防止に努める。



図1 幼虫（終齢）



図2 被害の状況（飼料用トモロコシ）

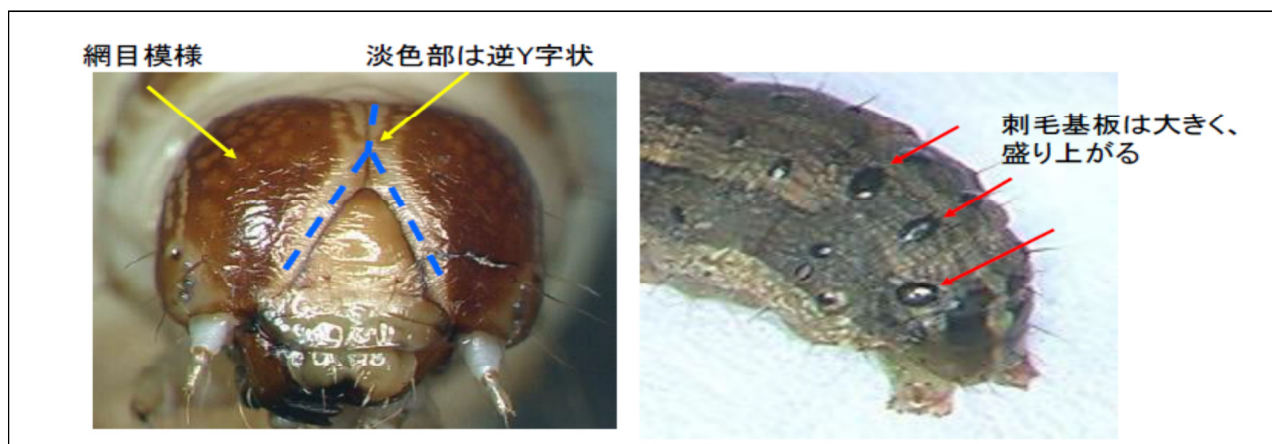


図3 頭部及び尾部の特徴



図4 雄の成虫



図5 雌の成虫

引用：農林水産省及び植物防疫所資料より引用

別表 ツマジロクサヨトウに使用できる農薬（9月2日現在）

ツマジロクサヨトウに対しては以下の農薬を使用して防除を行ってください。

以下に記載した農薬はツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第 29 条第 1 項の規定による防除を行うために使用が可能です。また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数使用量、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

○飼料用とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (14459, 21694, 21695)	散布	発生初期 但し収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—
BT水和剤 (19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	—
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
アセタミフリド水溶剤	散布	収穫90日前まで	100～300L/10a	6000倍	3回以内
MEP乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内

○未成熟とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (19616, 19618, 19899, 21694, 21695, 23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—
BT水和剤 (19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	—
BT水和剤 (14459)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	1000倍	—
MEP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
NAC粒剤	散布	雄穂抽出期～雌穂抽出期 但し収穫21日前まで		4～6kg/10a	2回以内
PAP乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェンブロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェンブロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	4回以内
エマメクテン安息香酸塩乳剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	700倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
カルタップ粒剤	散布	株の上から均一に撒く		6kg/10a	2回以内
クロマフェノジド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロラントラニリブロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロルフェナビル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
シベルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3000倍	3回以内
シベルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
シベルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
ピリダリル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
フィプロニル水和剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
フェンバレート・MEP水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	4回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	4000倍	2回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
ベルメトリン乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000倍	4回以内
メタフルミゾン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
レビメクテン乳剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内

○トウモロコシ(子実)

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (19616, 19618, 19899, 21694, 21695, 23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	-
BT水和剤 (19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	-
BT水和剤 (14459)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	1000倍	-
MEP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
PAP乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
イソキサチオン乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
エトフェンブロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェンブロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	4回以内
エマメクチン安息香酸塩乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	700倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
カルタップ粒剤	散布	収穫7日前まで		6kg/10a	2回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロルフェナピル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
シベルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3000倍	3回以内
シベルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
シベルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
フェンバレレート・MEP水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	4回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
ベルメトリン乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000倍	4回以内

○病害虫発生情報に関するお問い合わせ先

西部農業技術指導所・西部病害虫防除所 (〒739-0151 東広島市八本松町原 6869 電話082-420-9662)
 広島県立総合技術研究所
 農業技術センター生産環境研究部 (〒739-0151 東広島市八本松町原 6869 電話082-429-0521)
 農林水産局農業技術課 (〒730-8511 広島市中区基町 10-52 電話082-513-3559)

○病害虫発生予察情報は、広島県ホームページで閲覧できます。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>